

## 4 製造品出荷額等

- \* 製造品出荷額等は7兆1608億円
- \* 産業別では、「輸送用機械」が1兆2087億円（構成比16.9%）で最も多い
- \* 地域別では、府中市が7276億円（構成比10.2%）で最も多い

### (1) 産業別の状況

産業中分類別にみると、「輸送用機械」が1兆2087億円（構成比16.9%）で最も多く、次いで「電気機械」が7740億円（同10.8%）、「印刷・同関連業」が7425億円（同10.4%）となっている。

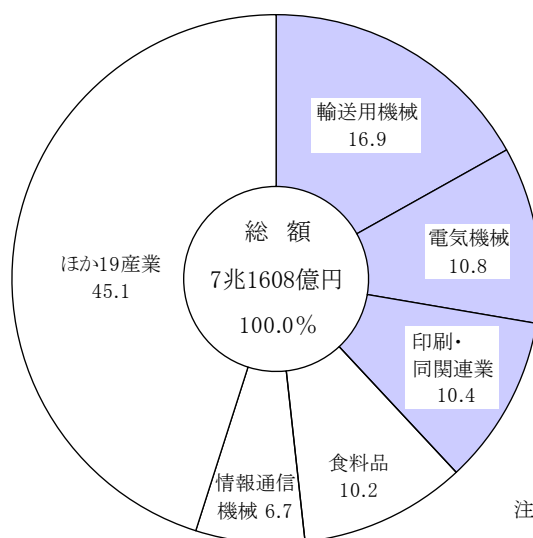
前回と比較すると、10産業が増加し、14産業が減少している。

前回と比較して増加した産業のうち増加額が最も多いのは、「非鉄金属」の330億円（29.1%）、次いで「その他」の170億円（7.9%）、「家具・装備品」の121億円（11.4%）となっている。

前回と比較して減少した産業のうち減少額が最も多いのは、「輸送用機械」の2732億円（△18.4%）、次いで「情報通信機械」の728億円（△13.2%）、「電子・デバイス」の456億円（△12.3%）となっている。

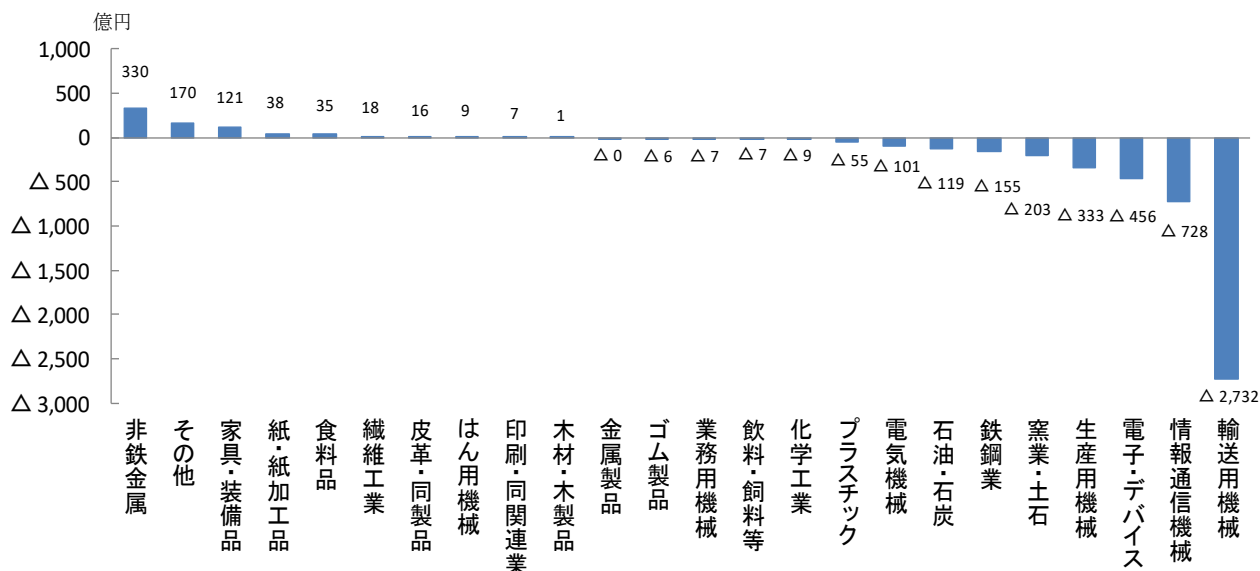
（図17、図18、付表1）

図17 産業中分類別製造品出荷額等構成比（従業者4人以上）



注) 上位3産業に網掛けをしている。

図18 産業中分類別製造品出荷額等対前回増減額（従業者4人以上）



(2) 従業者規模別の状況

従業者規模別にみると、「1000人以上」が2兆3178億円（構成比32.4%）で最も多く、次いで「50～99人」が7854億円（同11.0%）、「100～199人」が7469億円（同10.4%）となっている。

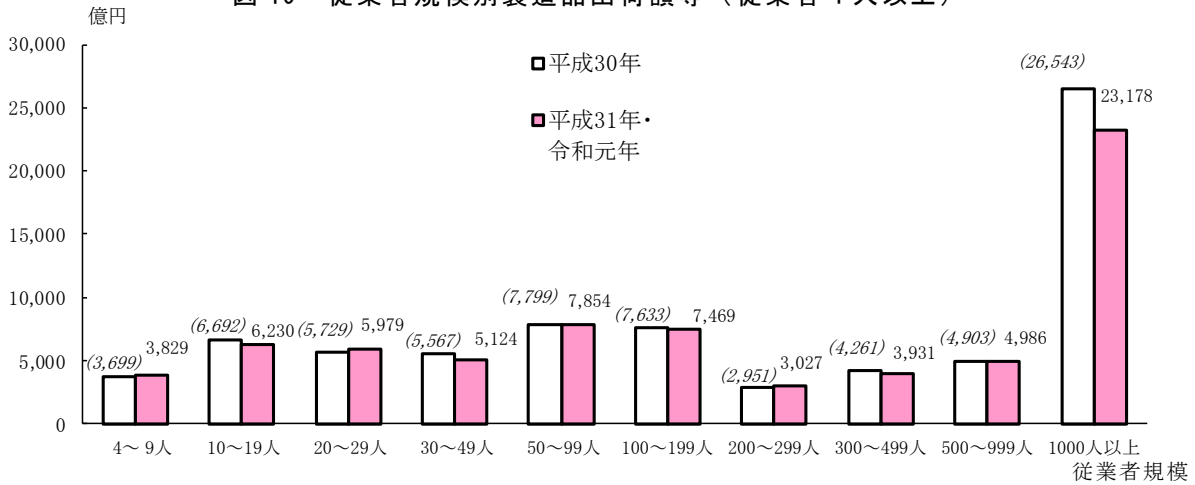
前回と比較すると、5区分が増加し、5区分が減少している。

前回と比較して増加した区分のうち増加額が最も多いのは、「20～29人」の250億円（4.4%）、次いで「4～9人」の130億円（3.5%）、「500～999人」の82億円（1.7%）となっている。

前回と比較して減少した区分のうち減少額が最も多いのは、「1000人以上」の3364億円（△12.7%）、次いで「10～19人」の462億円（△6.9%）、「30～49人」の443億円（△8.0%）となっている。

（図19、付表2）

図19 従業者規模別製造品出荷額等（従業者4人以上）



(3) 地域別の状況

地域別にみると、区部が2兆9275億円（構成比40.9%）、市部が3兆6630億円（同51.2%）、郡部が5679億円（同7.9%）、島部が23億円（同0.0%）となっている。

区市町村別にみると、区部では、大田区が4424億円（同6.2%）で最も多く、次いで板橋区が3381億円（同4.7%）、墨田区が2952億円（同4.1%）となっている。

市部では、府中市が7276億円（同10.2%）で最も多く、次いで羽村市が6012億円（同8.4%）、昭島市が4531億円（同6.3%）となっている。

郡・島部では、瑞穂町が5195億円（同7.3%）で最も多くなっている。

（図20、付表3）

図20 区市町村別製造品出荷額等構成比（従業者4人以上）

